



香芝検定

香芝検定実行委員会

平成31年版

問題集



contents 目次

1.問題集	03
2.解答・解説	15
3.巻末資料	29

1.問題集

◆第7回香芝検定 問題集 p03～p13

- 問1 ^{にじょうさん}二上山は、太古の昔に大噴火により形作られた山と考えられています。それは、地質時代（地球誕生から有史時代まで）のどの時期に当てはまるでしょうか。
- (1) 中生代 (2) 古第三紀 (3) 新第三紀 (4) 第四紀
- 問2 二上山麓には数万年前の旧石器時代から約2,000年前の弥生時代にかけてのサヌカイト製石器の原産地遺跡群があります。旧石器時代の^{せんごくれき}線刻礫が出土したのは、どの^{いせき}遺跡でしょうか。
- (1) 桜ヶ丘第1地点遺跡 (2) 鶴峯荘第1地点遺跡 (3) ^{ひらちやま}平地山遺跡 (4) 田尻峠第2地点遺跡
- 問3 ^{おおものぬしのみこと}大物主命の祟りから東西の^{まも}護りを固めるため「^{うだすみさかのかみ}宇陀墨坂ノ神（墨坂神社）に赤色の^{たてぼこ}楯矛を祀り、大坂^{おおさか}ノ神（大坂山口神社）に黒色の楯矛を祀れ」と『日本書紀』に記されています。どの天皇の時代だったでしょうか。
- (1) 第10代^{すじん}崇神天皇 (2) 第11代^{すいにん}垂仁天皇 (3) 第12代^{けいこう}景行天皇 (4) 第13代^{せいむ}成務天皇
- 問4 『日本書紀』に「^{たけはにやすびこ}武埴安彦、^{なにかし}妻某と謀りて^{はか}反逆^{みかどかたぶ}けむとし、^{いくさ}師を興して^{おこ}忽ち^{たちま}に至る」とあり、夫・武埴安彦は^{やましろう}山背から、妻某は大坂から攻め入り、三輪にあった都を攻め落とそうとしたことが記されています。この妻某の名は何というでしょうか。
- (1) ^{あたひめ}吾田媛 (2) ^{いわのひめ}磐之媛 (3) ^{くろひめ}黒媛 (4) ^{はにやすひめ}埴安媛
- 問5 ^{やまたいこく}邪馬台国は^{まきむく}桜井市の^{はしはか}纏向遺跡にあり、^{ひみこ}箸墓古墳が女王卑弥呼の墓だという説があります。『日本書紀』に「^そ其の墓を^{なづ}號けて^い箸墓と謂ふ。^こ是の墓は^{ひる}日は人作り、^か夜は神作る。故、大坂山の石を運びて造る」と記されています。続く記述で、石をどのようにして運んだと記されているでしょうか。
- (1) ^{しゅらぐるま}「修羅車」と呼ばれるソリのようなものを使って運んだ。
 (2) 大和川を使って、船や^{いかだ}筏に乗せて運んだ。
 (3) たくさんの人が並んで、手送りで運んだ。
 (4) 牛の背に乗せて運んだ。
- 問6 ^{かざらき}葛城氏は、実在が確認されている日本最古の豪族です。葛城氏の祖とされる^{かざらきのそつびこ}葛城襲津彦は、『日本書紀』に朝鮮半島でも活躍したことが記されています。その娘の^{いわのひめ}磐之媛は、ある天皇の皇后となって後の多くの天皇の母となります。どの天皇の皇后でしょうか。
- (1) 第16代^{りちゅう}仁徳天皇 (2) 第17代^{はんぜい}履中天皇 (3) 第18代^{いんぎょう}反正天皇 (4) 第19代^{いんぎょう}允恭天皇
- 問7 香芝市内に坊主山古墳という古墳があります。どの地区にあるでしょうか。
- (1) 瓦口 (2) 五ヶ所 (3) 今泉 (4) 北今市
- 問8 北今市地区に^{けんどう}顕宗天皇陵がありますが、^{にんけん}顕宗天皇は^{おけ}仁賢天皇の弟でした。幼い頃、それぞれ兄が^{おけ}億計、弟が^{をけ}弘計と呼ばれていました。この二人の父親は、誰でしょうか。
- (1) ^{いちべのおしほのみこ}市辺押磐皇子 (2) ^{あしだのすくね}葦田宿禰 (3) ^{たけしうちすくね}武内宿禰 (4) ^{ちぬのおおきみ}茅渟王
- 問9 顕宗天皇陵の南側に天皇の近親者又は従臣を葬ったとされる^{ばいちょう}陪冢があります。何基残っているでしょうか。
- (1) 1基 (2) 2基 (3) 3基 (4) 4基

問10 今泉地区に第25代武烈天皇陵がありますが、この天皇の名（諡）を『古事記』ではどのように表記しているでしょうか。

- (1) 男^{おあさづま}浅津間^{わくごのすくね}若子^{のみこと}宿禰王 (2) 大^{おお}長谷^{はつせ}若^{わか}建命^{たけるのみこと} (3) 小^お長谷^{はつせ}若^{わか}雀命^{ささぎのみこと} (4) 大江^{おおえ}之伊邪^{いざ}本^ほ和氣^{わけ}命^{のみこと}

問11 平野塚^{ひらのつか}穴山^{あなやま}古墳^のの被葬者^{むさう}と考えられているのが「押坂彦人大兄皇子^{おしさかのひこひとのおおえのみこ}」の子・茅渟王^{ちぬのおおきみ}です。この茅渟王の祖父に当たるのはどの天皇でしょうか。

- (1) 第27代安閑^{あんかん}天皇 (2) 第28代宣化^{せんか}天皇 (3) 第29代欽明^{きんめい}天皇 (4) 第30代敏達^{びだつ}天皇

問12 戦国時代の京都の歌人三条西公条^{さんじょうにしきんえだ}は、吉野の花見からの帰り道、志都美神社の神宮寺であった片岡清水明王院で泊まり、「しなてるや かたをかほどの飯^{いひ}をくひて 朝^{あした}の原を いかでいふらむ」と詠んでいます。これは、『日本書紀』にみえる「しなてる 片岡山に 飯に餓^ゑて 臥^こせる その旅人あはれ 親無しに…」のパロディーといわれています。『日本書紀』に記されているこの哀れな旅人を助けようとした人物は、誰でしょうか。

- (1) 長屋王 (2) 役行者^{えんのぎょうじゃ} (3) 蘇我馬子^{そがのうまこ} (4) 聖徳太子

問13 『日本書紀』に、壬申^{じんしん}の乱について「近江の軍、大坂道より至ると聞きて、將軍軍を引きて西に如く。當麻^{たぎま}の衢^{ちまた}に到りて、壹伎^{いぎ}韓^{からく}国が軍と、葦池^{あしいけ}の側に戦う。」とあります。この「當麻の衢」での戦場伝承と無関係なのはどこでしょうか。

- (1) 千股池^{ちまた}（良福寺）付近 (2) 吉ヶ池（磯壁）付近
(3) 穴虫峠西池付近 (4) 芦田池（王寺町本町）付近

問14 天武天皇8(679)年、「初めて関を竜田山、大坂山に置く。仍りて難波に羅城^{らじょう}を築く。」と『日本書紀』にあり、この関から「関屋」という地名が誕生したと考えられています。その頃の関の場所は定かではありませんが、江戸時代、郡山藩の番所があった所は判っています。どの辺りでしょうか。

- (1) 簀尾下池の南東にある堰^{せき}辺り (2) 簀尾下池畔にある関屋飛行機公園辺り
(3) 八幡神社^{はちまん}の南側辺り (4) 関屋駅の西側辺り

問15 大津皇子の「大津」は、ある土地で生まれたことに由来するとされています。その場所は、どこでしょうか。

- (1) 福岡の娜大津^{なのおおつ}（福岡市南区） (2) 近江^{おうみ}の宮（滋賀県大津市）
(3) 肥後国天満宮（熊本県菊池郡大津町） (4) 和泉国^{いずみ}の大津川（大阪府泉大津市）

問16 大津皇子は謀反^{むほん}の罪で死罪とされ、処刑後、亡骸^{なきがら}は二上山に移葬されたとされています。そのとき伊勢斎王^{さいおう}であった姉・大伯皇女^{おおくのひめみこ}（大来皇女）も斎王を解任されています。解任されたのはいつだったでしょうか。

- (1) 死罪が決まった日 (2) 処刑された日 (3) 処刑された翌日 (4) 処刑から1月後

問17 斎王の任を解かれて都に戻った大伯皇女は、伊賀国名張郡に父・天武天皇の供養のために「昌福寺」というお寺を建立したという記録が残っています。現在、何と呼ばれる廃寺が昌福寺であると考えられているでしょうか。

- (1) 夏目廃寺 (2) 夏見廃寺 (3) 夏風廃寺 (4) 夏切廃寺

問18 飛鳥時代の貴族、^{いなのおおむら}威奈大村の骨蔵器が江戸時代に穴虫村で発見され、国宝に指定されています。

大村は、ある天皇の葬儀の御装副官を務めたとされる人物です。誰の葬儀だったのでしょうか。

- (1) 天智天皇 (2) 天武天皇 (3) 持統天皇 (4) ^{もんむ}文武天皇

問19 香芝市の北部や上牧町、王寺町辺りはかつて「片岡」と呼ばれていました。その片岡に「^{もり}小松の杜」があり、和歌にも詠まれています。どのあたりにあったと考えられているのでしょうか。

- (1) 志都美神社北側 (2) 平野の亀山 (3) 上中の東山中 (4) 開発前の白鳳台南端

問20 長屋王邸から発掘された木簡の中には、「^{かたおかのかさ}片岡司」などの文字が見られ、長屋王は片岡を領地とし、片岡からも多くの物資が長屋王邸に運ばれていたことが想像されます。この木簡に記されていなかったものはどれでしょうか。

- (1) ^{はす}蓮 (2) ^{こい}鯉 (3) ^{かぶら}菁 (4) 桃

問21 明治時代後期に出版された『大日本地名辞書』によると、「^{ヤマト}大和」という名称が初めて文献に見えたとされているのは、いつのことだったとしているのでしょうか。

- (1) ^{てんびょうほうじ}天平寶字元(757)年 (2) ^{じんごけいうん}神護景雲元(767)年 (3) ^{ほうき}宝亀元(770)年 (4) ^{えんりやく}延暦元(782)年

問22 平安時代において貴族・寺社の私的な領有地であった次の「荘園」のうち、香芝市域にあったのは、どの荘園でしょうか。

- (1) 出雲荘 (2) 土田荘 (3) 田村荘 (4) 平田荘

問23 平安時代初期に^{へんさん}編纂された『^{えんぎしき}延喜式』と呼ばれる法令集に、国別に記録した神名帳があります。香芝市内の^{しきだいしゃ}式内社として志都美神社、大坂山口神社の二社ともう一社が記されています。何という神社でしょうか。

- (1) 深溝神社 (2) 横溝神社 (3) 高溝神社 (4) 那溝神社

問24 平安時代初期に編纂された『^{わみょうるいじゅしょう}倭名類聚抄』によると、大和国の^{かずらきしもぐん}葛下郡には「^{かむべ}神戸」「^{やまだい}山直」「^{たかぬか}高額」「^{かみ}賀美」「^{ただだ}蓼田」「^{ほむじ}品治」「^{たぎま}當麻」の七つの郷名が見えます。このうち「品治」は、どのあたりだと考えられているのでしょうか。

- (1) 広陵町 (2) 王寺町 (3) 河合町 (4) 上牧町

問25 平安時代天台宗の高僧、^{えしんそうずげんしん}恵心僧都源信は香芝市良福寺に生誕伝承があります。源信の父は、誰でしょうか。

- (1) ^{うらべまさちか}卜部正親 (2) ^{けんしん}見真大師 (3) ^{へんじょう}遍照金剛 (4) 良源

問26 恵心僧都源信が著した^{あらわ}仏教書は鎌倉時代に至って、^{ほうねん}法然の浄土宗や^{しんらん}親鸞の浄土真宗の^{いしづえ}礎ともなりました。源信が著した仏教書は、どれでしょうか。

- (1) ^{たいままだらしよ}当麻曼荼羅疏 (2) ^{ほんちやうほっげんき}本朝法華驗記 (3) ^{しょうごんじきやう}照権実鏡 (4) ^{おうじやうようしゅう}往生要集

問27 下田西地区にある鹿嶋神社の創建は、いつ頃と伝わっているのでしょうか。

- (1) 延暦8(789)年^{かんむ}桓武天皇の頃 (2) 弘仁4(813)年嵯峨天皇の頃
(3) 保安3(1122)年鳥羽天皇の頃 (4) 承安2(1172)年高倉天皇の頃

問28 香芝市内には、現存している寺院が39あり、本堂の仏像、石仏、来迎図などのうち6つの如来と菩薩、1つの明王が市の指定文化財になっています。仏像は、その位の高さによって4つに分類されます。いちばん位が高いとされているのはどれでしょうか。

- (1) 菩薩 (2) 天 (3) 明王 (4) 如来

問29 香芝で13世紀中頃以降に梵鐘・半鐘・湯釜・燈籠・風鐸・香炉・水盤・鰐口など優れた鋳物を鋳造した下田鋳物師や、その後を受け継いだ五位堂鋳物師が活躍しました。この鋳物師等を全国的に支配していたのは、どの官人でしょうか。

- (1) 真継家 (2) 近衛家 (3) 九条家 (4) 鷹司家

問30 下田鋳物師の鋳造した梵鐘は、大和はもちろんのこと全国各地に残っています。特に下田鋳物師が鋳造した梵鐘が数多く残されているのは、どの地方でしょうか。

- (1) 京都府 (2) 兵庫県 (3) 愛知県 (4) 長野県

問31 本尊の千手観音が楠木正成の身替りになった「身替観音」と伝えられ、寺域から鎌倉期とみられる古瓦が出土したのは、どの寺院でしょうか。

- (1) 滝不動院（尼寺） (2) 観音寺（田尻） (3) 専称寺（畑） (4) 圓乗寺（別所）

問32 楠木正成の「身替観音」の鎮守神として祀られたのが起こりと伝わる神社があります。どの神社でしょうか。

- (1) 春日神社（磯壁） (2) 八幡神社（関屋） (3) 三輪神社（田尻） (4) 天神社（鎌田）

問33 室町時代の『大乘院寺社雑事記』に今泉山中に雲門寺というたいへん大きな寺院があったと記されています。この寺の蔵主（経蔵を司る僧）として記されているのは誰でしょうか。

- (1) 片岡昌高 (2) 片岡道春 (3) 片岡利盛 (4) 片岡国春

問34 奈良盆地は雨が少なく、そのため多くのため池が造られてきました。それでも水不足は深刻で、江戸時代以前からも香芝市域でも稲作の代わりに別の農作物が多く作られていました。その農作物とは、何でしょうか。

- (1) そら豆 (2) 菜種 (3) 綿 (4) 麦

問35 天正元(足利義昭・1573)年、小谷城の戦いで織田信長が朝倉義景・浅井長政を滅ぼし、平定した後の戦後処理を信長は次の4人の武将のうちの1人に命じています。命じられたのは、誰でしょうか。

- (1) 岡因幡守 (2) 岡周防守 (3) 片岡利盛 (4) 片岡国春

問36 畑地区の二上山ノ池登山口右手の小高いところに戦国武将岡氏の城跡があります。岡彌次郎は、筒井順慶らに攻め込まれて自害させられました。この岡攻めに加わっていた武将は誰でしょうか。

- (1) 羽柴秀吉 (2) 明智光秀 (3) 丹羽義秀 (4) 柴田勝家

問37 香芝の江戸初期の村々で、唯一近江小室藩の単独藩領であったのは、どの村でしょうか。

- (1) 平野村 (2) 穴虫村 (3) 別所村 (4) 逢坂村

問38 京都市東山区にある方広寺の鐘の銘「君臣豊楽 国家安康」の文字に家康が難癖をつけ、大坂の陣のきっかけとなったともいわれています。この方広寺の鐘の鑄造に、一人の五位堂鑄物師が参画していました。それは誰でしょうか。

- (1) 小原善次郎 (2) 杉田六左衛門 (3) 津田宇左衛門 (4) 津田五郎兵衛

問39 天正10(足利義昭・1582)年6月2日、本能寺の変で織田信長が亡くなった頃、徳川家康は、堺にいました。明智光秀に首を狙われているかも知れないと考え、三河へ戻ろうとしていた家康に二上山の峠越えの道案内をした功で出世した兄弟がいました。兄は石見銀山奉行に取り立てられ、弟は、狐井村・磯壁村・平野村の代官になったあと佐渡奉行となりました。この弟とは、誰でしょうか。

- (1) 下田友夏 (2) 竹村嘉理 (3) 藤田茂行 (4) 喜多見勝忠

問40 志都美地区の今泉は、江戸時代に村名を改称しています。前の村名はどれでしょうか。

- (1) 志泉村 (2) 清水村 (3) 泉出村 (4) 西村

問41 香芝市内には、中国の僧が開基したと伝わる寺院があります。それはどの寺院でしょうか。

- (1) 徳藏院(五位堂) (2) 寂照寺(鎌田) (3) 長福寺(瓦口) (4) 法覺院(上中)

問42 享保9(徳川吉宗・1724)年の『和州御領郷鑑』によると、香芝の村々の農民の区分で一村だけ「本百姓」より「水呑百姓」が多かった村がありました。どの村でしょうか。

- (1) 下田村 (2) 五位堂村 (3) 穴虫村 (4) 平野村

問43 香芝市内に「馬場」と呼ばれている地域があります。それは、どの地区にあるでしょうか。

- (1) 畑 (2) 磯壁 (3) 穴虫 (4) 関屋

問44 江戸時代の年貢増徴政策に対して百姓一揆が頻発していました。大和では幕府領を芝村藩(現桜井市)が預かり、その年貢を徴収していました。その徴収の厳しさに耐えかねて葛本村(橿原市)、吉備村(桜井市)、中村(葛城市)など三十数か村の百姓たちが、芝村騒動を起こしました。この騒動に巻き込まれた香芝の村は、どの村でしょうか

- (1) 瓦口村 (2) 別所村 (3) 鎌田村 (4) 良福寺村

問45 毎年4月23日、「嶽(二上山)」の水の恵みを享受する嶽郷四十八ヶ村の人々が二上山に登ってお弁当や寿司を食べながら「嶽」に感謝する「岳のぼり」という行事が行われてきましたが、この嶽郷四十八ヶ村に含まれない旧村はどこでしょうか。

- (1) 五位堂村 (2) 下田村 (3) 二上村 (4) 志都美村

問46 明治15(1882)年頃の香芝の世帯は、およそ何人家族だったでしょうか。

- (1) 約4.7人 (2) 約5.7人 (3) 約6.7人 (4) 約7.7人

問47 明治20(1887)年、ある有名寺院の信徒の熱意で五重塔の再建計画が興り、棟梁として上里村(上中)の宮大工小林源三郎に再建依頼がありました。資金欠乏などで再建は頓挫しましたが、源三郎の顕彰碑が上中の正願寺境内に残っています。彼が再建しようとした五重塔は、どの寺院のものでしょうか。

- (1) 善光寺 (2) 永平寺 (3) 東福寺 (4) 浅草寺

問48 明治21(1888)年の町村制公布にあたり、県内では高市・葛上^{かつじょう}・葛下^{かつげ}郡内の村々の合併協議がなかなか進みませんでした。そのため、郡の準備委員会が合併案を提示しました。その案の村名になかったのはどの村名でしょうか。

- (1) 二上村 (2) 威奈村^{い な} (3) 片岡村 (4) 送迎村^{ひるめ}

問49 香芝市内で通称「三角」^{みかど}と呼ばれている地域を含んでいる正式町名（住民票等に表示されている）は、どの町名でしょうか。

- (1) 上中 (2) 五ヶ所 (3) 磯壁 (4) 別所

問50 毎年秋に行われている防火啓発パレードは、火災予防運動の一環ですが、全国的にこの運動が一気に広まっていったきっかけとなる地震災害がありました。それはどの地震でしょうか。

- (1) 関東大震災 (2) 東南海地震 (3) 鳥取地震 (4) 北丹後地震

問51 次の香芝市に関連する鉄道の記述のうち、誤っているものはどれでしょうか。

- (1) 志都美駅とJR五位堂駅のホームの原形は、昭和15(1940)年に信号所として設置されたものである。
(2) 明治24(1891)年に王寺・高田間が開通し、その翌年、下田駅（現・香芝駅）が開業した。
(3) 昭和30(1955)年に国鉄和歌山線の畠田駅とともに志都美駅が開業した。
(4) 昭和4(1929)年に二上山駅が、昭和12(1937)年に屯鶴峯駅^{どんづるほう}が臨時駅として開業した。

問52 次の文学作品の中で「二上山」の表記がない作品があります。どの小説でしょうか。

- (1) 『死者の書』(折口信夫^{し の ぶ}) (2) 『剣の四君子』(吉川英治^{けん})
(3) 『風の王国』(黒岩重吾) (4) 『吉野葛』(谷崎潤一郎^{くす})

問53 昭和13(1938)年5月に国家総動員法が施行され、戦時下の香芝の村々にも警防団という組織が結成されました。いつのことだったでしょうか。

- (1) 昭和13(1938)年5月 (2) 昭和13(1938)年10月
(3) 昭和14(1939)年3月 (4) 昭和14(1939)年9月

問54 香芝市内にある宗教法人20社の神社に神宮と呼ばれる神社はありません。一般的に神宮と呼ばれる社号とそれ以外の神社の社号では、どのような違いがあるのでしょうか。

- (1) 宝物館がある神社のみ神宮と呼ばれている。
(2) 全国から崇敬を集める格式の高い神社が神宮又は大社と呼ばれている。
(3) 天皇や皇族に縁^{ゆかり}が深い神社が神宮と呼ばれている。
(4) 通称「お宮さん」と呼ばれることが多い神社が神宮と呼ばれている。

問55 神社には鳥居がありますが、ほぼ東西南北の一方に向けられています。香芝市内の神社で一社も向けられていない鳥居の方角は、どの方角でしょうか。

- (1) 東向き (2) 西向き (3) 南向き (4) 北向き

問56 香芝市内のある住宅地角に「神武天皇遥拝所」^{ようはい}と刻まれた石碑が建っています。どこの地区にあるでしょうか。

- (1) 穴虫地区 (2) 狐井地区 (3) 五位堂地区 (4) 五ヶ所地区

- 問57 香芝市は、昭和31(1956)年に4村が合併した香芝町が平成3(1991)年に市制施行してできた市です。旧4村は、下田村・五位堂村・二上村・志都美村でした。その五位堂村の村役場があった場所は現在どのようなになっているのでしょうか。
- (1) 五位堂郵便局 (2) 五位堂公民館 (3) J Aならけんかしば南支所 (4) 民家
- 問58 香芝市の市章(市のマーク)のデザインは、何をモチーフにしているのでしょうか。
- (1) 市の木である榎 (2) 屯鶴峯の鶴の翼 (3) 市のゆるキャラ・カッシー (4) カタカナ
- 問59 志都美地区西山中にある分川池には管理釣り場があります。同時に何人の釣り人が楽しめる施設でしょうか。
- (1) 100人 (2) 300人 (3) 500人 (4) 1,000人
- 問60 平野川は、平野地区を経て葛下川に流れ込んでいますが、今泉地区を流れる部分には別の川名がついています。何という川名でしょうか。
- (1) しれだ川 (2) しだれ川 (3) しれら川 (4) しられ川
- 問61 ごみ収集車が奏でている童謡「赤とんぼ」は、奈良県内でも多くの自治体が採用しています。主に午前中にごみ収集が行われていますが、なぜ、日暮れの歌である「赤とんぼ」を奏でながら収集業務を行っているのでしょうか。
- (1) 次代に残したい童謡常にベスト3に入る名曲であることが採用の理由となっている。
(2) ゴミ収集車を納車しているメーカーのオルゴール選択肢に「赤とんぼ」と「おさるのかご屋」の2曲しかなく、採用当時「赤とんぼ」を選択する自治体が多かった。
(3) 40年ほど前までは一日かけて収集業務を行い、夕方の最後の収集車が「赤とんぼ」を奏でて最後の収集だということを知らせていた名残。
(4) 現在、「赤とんぼ」と「エリーゼのために」が主に奏でられているが、採用の理由はわからない。
- 問62 奇勝で知られる屯鶴峯には先の大戦末期の昭和19(1944)年、陸軍の航空総軍戦闘総司令所の軍事施設として総延長2キロメートルに及ぶ網目状の地下壕が掘削されましたが、完成前に終戦を迎えました。今はその坑道内に、ある施設が設けられています。どのような施設でしょうか。
- (1) 地殻変動観測所 (2) 火山岩堆積物掘削研究所
(3) 地下水変動観測所 (4) 地震予知観測所
- 問63 香芝市内一円を対象に上水道の給水が始まったのは、いつのことだったのでしょうか。
- (1) 昭和42(1967)年10月 (2) 昭和43(1968)年3月
(3) 昭和44(1969)年3月 (4) 昭和45(1970)年12月
- 問64 平成30(2018)年現在、香芝を構成する旧4村地区でいちばん人口が多いのは旧五位堂村地区ですが、昭和45(1970)年当時、いちばん人口が多かったのはどの地区でしょうか。
- (1) 旧五位堂村地区 (2) 旧下田村地区 (3) 旧二上村地区 (4) 旧志都美村地区

- 問65 香芝中学校が昭和24(1949)年に開校して以来、志都美地区の生徒たちは蒸気機関車を利用して通学していました。何年まで汽車を利用して通学していたのでしょうか。
- (1) 昭和41(1966)年 (2) 昭和44(1969)年 (3) 昭和47(1972)年 (4) 昭和50(1975)年
- 問66 今泉地区で昭和46(1971)年頃から西名阪自動車道高架橋公害問題が起き、訴訟問題へと発展しました。それはどのような訴訟内容だったのでしょうか。
- (1) 大型車からの排気ガスによる健康被害
(2) 超低周波空気振動がもたらす健康被害
(3) 橋脚に使用されたアスベストが振動によって飛散したことによる健康被害
(4) 地盤沈下によって地下水が汚染されたことによる健康被害
- 問67 二上山に多く生息することが古くから知られていましたが、幾度か起きた山火事のためにほとんど見られなくなってしまった日本特産の準絶滅危惧種の蝶は、どれでしょうか。
- (1) オオムラサキ (2) イシガケチョウ (3) ギフチョウ (4) ウラナミシジミ
- 問68 住所の表示には「〇〇番地〇」のように土地登記簿の地番で表す地区と、「〇番〇号」という住居表示方式で表す地区があります。香芝市で住所を「〇番〇号」と住居表示方式で表しているのは、どの地区でしょうか。
- (1) 高山台二丁目 (2) 藤山二丁目 (3) 下田西二丁目 (4) 磯壁二丁目
- 問69 香芝市役所の現在の庁舎は40年余り前に建設され、町役場は、事務所を旧庁舎から現在の庁舎に移転しました。それは、いつだったのでしょうか。
- (1) 昭和50(1975)年 (2) 昭和51(1976)年 (3) 昭和52(1977)年 (4) 昭和53(1978)年
- 問70 伊勢湾の神島から淡路島の伊勢ノ森までを線で結ぶと、春分・秋分の日には太陽が通る東西線と重なります。その線上にはおよそ3キロメートルごとに社寺や遺跡等があり、太陽信仰と結びつけて「太陽の道」とも呼ばれ、香芝市もこの線上にあたります。この線は、どの緯度を通っているのでしょうか。
- (1) 北緯34° 32′ (2) 北緯32° 34′ (3) 北緯34° 34′ (4) 北緯32° 32′
- 問71 香芝市には公立中学校が4校ありますが、市内の中学校が香芝中学校の1校だった頃、1学年のクラス数がいちばん多かったのは何クラスだったのでしょうか。
- (1) 11クラス (2) 13クラス (3) 15クラス (4) 17クラス
- 問72 香芝市の公立小学校は、1校を除いて児童の標準服を採用しています。標準服を採用していないのはどの小学校でしょうか。
- (1) 旭ヶ丘小学校 (2) 鎌田小学校 (3) 真美ヶ丘東小学校 (4) 真美ヶ丘西小学校
- 問73 香芝市が誕生したときの初代市長は、誰でしょうか。
- (1) 山本武夫 (2) 石田清茂 (3) 瀬田道弘 (4) 先山昭夫

問74 香芝市内の住所を表すとき、地名の冠に「^{おおあざ}大字」は付きません。香芝市では平成3(1991)年の市制施行時に大字を廃止（正式には町名変更）しました。隣の大和高田市にはこの大字が付く地名が多くあります。「大字」は、何のために付いていたのでしょうか。

- (1) 小字と区別するため
- (2) 一定規模の人口と区域があったため
- (3) 明治初期まで村であった証として
- (4) 丁目がない地名に付いていた

問75 香芝市内の遺跡から出土した日本古代の銭貨はどれでしょうか。

- (1) 富本銭^{ふほんせん}
- (2) 和同開珎^{ちん}
- (3) 寛永通宝
- (4) 五位堂銭

問76 香芝の民話のひとつ「たんだの椿」は、平野地区に現存する椿の木にまつわるお話です。この椿の木の高さはどれほどでしょうか。

- (1) 約4メートル
- (2) 約6メートル
- (3) 約8メートル
- (4) 約10メートル

問77 香芝市内には国指定の文化財が4件あります。阿日寺の絹本著色阿弥陀聖衆来迎図^{けんぼんちゃくしよくあみだしょうじゅらいごうず}（重要文化財・奈良国立博物館へ寄託）、常盤寺^{とぎわ}（廃寺）の木造大日如来坐像（重要文化財・阿日寺へ寄託）、平野塚穴山古墳（記念物・史跡）ともう一件はどれでしょうか。

- (1) 志都美神社社叢^{しゃそう}
- (2) 屯鶴峯
- (3) 鹿嶋神社結鎮座文書^{けっちんざ}
- (4) 尼寺廃寺跡

問78 香芝市と関係自治体との間でさまざまな災害協定が締結されています。大阪府交野市^{かたの}と三重県名張市との間で結ばれているのは、どの協定でしょうか。

- (1) 大規模災害相互物資援助協定
- (2) 災害時における応急対策業務に関する協定
- (3) 災害時における相互応援協定
- (4) 大規模災害時における物資調達に関する協定

問79 香芝市総合福祉センターは、ため池を埋め立てて建設されました。何というため池だったのでしょうか。

- (1) ウト池
- (2) 深池
- (3) 女郎ヶ池^{じょうろう}
- (4) 二又池^{ふたまた}

問80 市内の鎌田地区や下田東地区で電柱がなぎ倒され、数日間に及ぶ停電が起こるなど甚大な被害をもたらしました。この台風7号による惨禍があったのは、いつだったのでしょうか。

- (1) 平成10(1998)年
- (2) 平成12(2000)年
- (3) 平成14(2002)年
- (4) 平成16(2004)年

問81 第128世法隆寺管主であった高田良信氏^{きごう}が揮毫された「太子道顕彰碑」が市内2カ所に設置されています。一つは志都美地区の尼寺児童公園南東角にあります。もう一つはどこに設置されているのでしょうか。

- (1) 今泉の畑之浦旧集落を越えた南側辺り
- (2) 逢坂の竹田川にかかるウジロ橋のたもと
- (3) 太子が休憩したと伝わる穴虫のヤスン場
- (4) 穴虫峠太子道地藏磨崖仏横^{まがいぶつ}

問82 次の女優の中で、香芝市内の幼稚園を卒園した人がいます。誰でしょうか。

- (1) 桐谷美玲
- (2) 土屋太鳳
- (3) 吉岡里帆
- (4) 有村架純

- 問83 少し古い2000年版のN T T電話番号帳に掲載されている中で、下田地区（下田西・下田東）にいちばん多かったのは、どの名字でしょうか。
- (1) 森谷 (2) 田中 (3) 山本 (4) 山口
- 問84 香芝市民憲章は、5つの標語で構成されています。その標語にないのはどれでしょうか。
- (1) 自然を大切にし、美しいまちをつくります。
(2) 教養をふかめ、文化をたかめるまちをつくります。
(3) 伝統を生かし、新しい文化の香るまちをつくります。
(4) 元気な「ひと」を育て、希望あふれるまちをつくります。
- 問85 香芝市の一部で財産を有しているとし、その財産の管理と処分に関して特別地方公共団体として法人格を与えられた財産区があります。財産区はいくつあるでしょうか。
- (1) 18 (2) 20 (3) 22 (4) 24
- 問86 奈良県天然記念物「屯鶴峯」へのアクセスに利用される道路「香芝太子線」は、奈良県道・大阪府道何号でしょうか。
- (1) 54号 (2) 105号 (3) 203号 (4) 703号
- 問87 平成17(2005)年に下田東遺跡から木簡が出土し、その木簡には自分の遺書めいた内容が記されていました。これを記したとされる平安初期の役人は誰でしょうか。
- (1) 伊福部豊足^{いふきべのとよたり} (2) 秦人麻呂^{はたのひとまろ} (3) 大伴部宮麻呂^{おおともべのみやまろ} (4) 磯部緒足^{いそべのおたり}
- 問88 中央構造線断層帯による地震が発生した場合、市内では震度7が想定されています。では、東南海・南海地震が同時に発生した場合に想定されている震度はどれほどでしょうか。
- (1) 震度5強 (2) 震度6弱 (3) 震度6強 (4) 震度7
- 問89 『二上山のかなたに、赤い大きな夕日がするすると落ちていく。空はあかね色に染まって、刻々と色あいを変える。「なんというきれいな夕日だろう」と、範宴^{はんねん}は思わずつぶやいた。見ていると心が吸い込まれるような気持ちになってくる…』の件がある小説『親鸞^{あらわ}』を著したのは、誰でしょうか。
- (1) 倉田百三^{ひゃくぞう} (2) 吉川英治 (3) 五木寛之 (4) 丹羽文雄^{に お}
- 問90 平成12(2000)年の国土技術政策総合研究所資料によると、香芝市の市道に植樹されている街路樹は、奈良県内の自治体で何番目に多いでしょうか。
- (1) 4番目 (2) 5番目 (3) 6番目 (4) 7番目
- 問91 平成25(2013)年の調査では香芝市の空き家率は約10%の3,020戸でしたが、平成27(2015)年に施行された「空家法」により、翌年に空家等実態調査が行われました。その結果、空き家ではない又は空き家の決定的な根拠がないと認定された戸数は合わせてどれほどあったでしょうか。
- (1) 400戸余り (2) 500戸余り (3) 600戸余り (4) 700戸余り

- 問92 J R五位堂駅は、駅名にJ Rの冠が付いています。このようにJ Rの冠が付く駅は、平成30(2018)年11月末時点で全国にどれほどあるでしょうか。
- (1) 5 駅 (2) 7 駅 (3) 9 駅 (4) 11 駅
- 問93 平成30(2018)年11月末時点の香芝市の人口は、79,470人です。奈良県内39市町村の中で何番目に多いでしょうか。
- (1) 5 番目 (2) 6 番目 (3) 7 番目 (4) 8 番目
- 問94 平成30(2018)年11月末現在、香芝市内で営業しているコンビニエンスストアは、何店舗あるでしょうか。
- (1) 10店舗 (2) 15店舗 (3) 20店舗 (4) 25店舗
- 問95 香芝市には平成30(2018)年11月末時点で39の歯科医院がありますが、8月30日時点の奈良県推計人口で計算した場合、1医院あたりの住民の人口がいちばん少ない市はどの市でしょうか。
- (1) 橿原市 (2) 大和高田市 (3) 香芝市 (4) 御所市
- 問96 市民図書館の休館日や早朝・夜間など、図書の返却の利便性を上げるため、駅前に設置されたブックポストに本や雑誌を投函することで返却できます。設置されていないのは、どの駅でしょうか。
- (1) 志都美駅 (2) 香芝駅 (3) 五位堂駅 (4) 関屋駅
- 問97 香芝市シルバー人材センターは、会員による自主的・主体的な運営をすることと、会員同士が豊かな経験と知識を活かし、お互い協力し合い働くことを理念として活動されています。平成30(2018)年5月末現在の会員登録数は、どれほどでしょうか。
- 98 300名余り (2) 400名余り (3) 500名余り (4) 600名余り
- 問98 平野地区に伝わる「平野七つ石」はこれまで地区内に六つしか確認できず、長らく王寺町畠田内を流れる滝川の中にある巨石がそうだとされてきました。そんな中、平成30(2018)年9月に平野地区内で七つ目の石が見つかり、平野地区内に七つ全部あることが分かりました。どういったきっかけで見つかったでしょうか。
- (1) スポーツ公園整備のため平野川の上流を^{しゅんせつ}浚渫したときに見つかった。
(2) 平野塚穴山古墳を整備するときに見つかった。
(3) 地区内の民家を解体撤去するときに見つかった。
(4) いちばん巨大とされていた石が、実は二つだった。
- 問99 平成30(2018)年11月末時点で香芝市内の道路には71カ所に信号機が設置されています。このうち視覚障害者に配慮した音響式信号機が併設されているのは何カ所でしょうか。
- (1) 6カ所 (2) 9カ所 (3) 12カ所 (4) 15カ所
- 問100 香芝市の鉄道駅周辺には自転車駐車場が設置されています。障害者手帳等をお持ちの方は利用料の減免申請をすることができます。市営自転車駐車場は、何カ所設置されているでしょうか。
- (1) 7カ所 (2) 8カ所 (3) 9カ所 (4) 10カ所

2. 解答・解説

◆第7回香芝検定 解答・解説 p15～p27

問1 【答え】(3) 新第三紀

解説：二上山の噴火は、新第三紀中新世の中頃にあたる2,000万年前～1,500万年前頃にあったと考えられています。そして、数十万年以内の比較的短い期間にできたと考えられています。

問2 【答え】(1) 桜ヶ丘第1地点遺跡

解説：昭和50(1975)年に橿原考古学研究所と旧石器文化談話会によって発掘調査が行われ、この遺跡は一段と注目されるようになりました。当時、線刻礫は人工品として新聞でも報道されましたが、その後、自然礫説が出てからは、線刻礫に関して考古学関係者も慎重な立場をとっているようです。

問3 【答え】(1) 第10代崇神天皇

解説：『日本書記』崇神天皇9年3月条に、天皇の夢枕に神が現れ、「赤盾8枚、赤矛8竿^{さお}を墨坂神に祀れ。そして黒盾8枚、黒矛8竿を大坂神に祀れ。」と告げられました。4月16日、夢での教えのとおり、墨坂神と大坂神にこれを祀り、坂の神や河の瀬の神に至るまで、すべてお供えをして祀るとすっかり疫病は無くなり、国は平穏になったとされています。

問4 【答え】(1) 吾田媛

解説：崇神天皇10年、天皇が朝廷軍を各地に派遣することを決定し、勅命を受けた大彦命^{おおひこのみこと}が、北陸道の平定に向かう途中「御間城入彦^{みまきいりひこ}はや己^{おの}が命を弑^{しい}せむと竊^{ぬす}まく知らに姫遊^{ひめなそび}すも」という少女の天皇の暗殺を暗示する歌を耳にする。報告を受けた天皇は群臣を集めて対策を練り、武埴夫妻との激戦を地の利を生かした戦いで打ち破り反乱を鎮めたとされています。

問5 【答え】(3) たくさんの人が並んで、手送りで運んだ。

解説：『日本書記』崇神天皇10年、箸墓の築造にあたって大坂の石を手送りで運んだと記されています。また、「大坂に^つ繼ぎ登れる石群^{いしむら}を手^た遞傳^{ごし}に越さば越しかてむかも」という、その時の様子も歌われています。事実、専門家によって、葺石^{ふきいし}に使われた石が大阪府柏原市の芝山(112メートル・府県境から北西1キロメートル)の玄武岩であることが確認されています。

問6 【答え】(1) 第16代仁徳天皇

解説：磐之媛^{ふじわらのふひと}は、藤原不比等^{ふじのらふ}の娘^{しょうむ}が聖武天皇の皇后になる時、皇族以外で皇后になった先例にされました。仁徳天皇との間には、履中天皇・住吉仲皇子^{すみのえのなかつおうじ}(履中天皇の弟)・反正天皇・允恭天皇^{いんぎょう}があります。

問7 【答え】(1) 瓦口

解説：坊主山古墳は、西側の土山古墳とともに未踏査ですが、北から延びる丘陵の尾根に造られた径約30メートル、高さ約5メートルの円墳とです。葺石^{はにわ}や埴輪^{はにわ}の存在はわからず、そのため築造時期も不明です。

問8 【答え】(1) 市辺押磐皇子

解説：市辺押磐皇子は、第17代履中天皇の子です。弟の顕宗天皇(弘計)は第23代、兄の仁賢天皇(億計)は第24代。第21代雄略天皇・第22代清寧天皇^{せいねい}は第19代允恭天皇の系譜です。

問9 【答え】(3) 3基

解説：陪冢とは主墳の脇に造られた近親者や従者の墳墓のことです。顕宗天皇陵の南約170メートルの所に「陪冢い号」が、その東約100メートルの所に「陪冢ろ号」が、更に約70メートル東に「陪冢は号」が宮内庁によって保存されています。

問10 【答え】(3) 小長谷若雀命

解説：(1)は、第19代允恭天皇(雄朝津間稚子宿禰尊^{おあさづまわくごのすくねのみこと})、(2)は、第21代雄略天皇(大泊瀬幼武尊^{おおはつせわかたけるのみこと})、(4)は、第17代履中天皇(大兄去来穂別尊^{おおえのいざほわけのみこと})の諡です。()内は『日本書紀』での諡です。武烈天皇は、小泊瀬稚鷦鷯尊^{おはつせのわかさぎのみこと}です。

問11 【答え】(4) 第30代敏達天皇

解説：敏達天皇の後は、推古天皇でしたが茅渟王の父である押坂彦人大兄皇子は、前後であった廣姫(比呂比売命^{ひろひめのみこと})との間の長子です。茅渟王の子には天智・天武天皇の母である皇極天皇(重祚・斉明天皇^{ちようそ})と孝徳天皇がありました。

問12 【答え】(4) 聖徳太子

解説：片岡山飢人説話で、古代における太子信仰のひとつのあり方を示す伝説。『日本書紀』推古天皇21年の条、「しなてる 片岡山に 飯に餓て 臥せる その旅人あはれ 親無しに 汝生りけめや さす竹の君はや無き 飯に餓て 臥せる その旅人あはれ (片岡山で、食べ物がなく、餓えて斃れている、その旅人よ可哀相に。親もなくて生まれたはずがあらうか。ご主人様はいないのか。食べ物もなく、餓えて斃れている、その旅人よ可哀相に。)」

問13 【答え】(3) 穴虫峠西池付近

解説：(1)の千股池は、當麻郷域にあり衢の地名に縁^{ゆかり}があります。(2)の吉ヶ池は、葦ヶ池の「葦」(平安時代頃までは「アシ」と読まれ、現代は「ヨシ」が一般的)が転訛したもので、葦池の古戦場であると『香芝町史』伝説の項に記されています。(4)の芦田池は、江戸時代初期の『和州旧跡幽考』に「肩岡池、達磨寺^{うしとら} 良 辺、葦が池といふあり。これにや」と記されていることから王寺町では芦田池を壬申の乱の観光スポットとしています。

問14 【答え】(1) 簀尾下池の南東堰辺り

解説：旧・関屋村は、東西石坂を上った高台にあり、自然の城のような地形です。簀尾下池の南東堰は、東から石坂を登り切った辺りにあり、番所を置くには最適と考えられます。ただ、関は一カ所ではなく、大坂越えが出来る穴虫など数カ所にあったのではないかと考えられています。

問15 【答え】(1) 福岡の娜大津(福岡市南区)

解説：斉明天皇の新羅遠征の際、九州に随行した大田皇女の子として娜大津で誕生したことに由来すると考えられています。しかしそれは、姉の大伯皇女が備前国(岡山)の大伯海で生まれたことによって命名されたという『日本書紀』からの連想であり、そのように何かの史料に記されているわけではありません。

問16 【答え】(4) 処刑から1月後

解説：朱鳥元^{あかみとり}(686)年10月3日に弟の大津皇子は、謀反人^{むほんにん}として死を賜りました(享年24)。その翌月の11月17日に斎王を退下して都に戻り、大宝元(701)年12月27日に生涯を閉じました(享年41)。

問17 【答え】(2) 夏見廃寺

解説：三重県名張市にある夏見廃寺は、『醍醐寺本薬師寺縁起』に「大来皇女、最初斎宮なり、神亀2(聖武天皇・725)年を以て浄原^{きよみはら}天皇のおんために昌福寺を建立したまう。夏身^{あぎな}と字す。もと伊賀国名張郡に在り。」と記され、その昌福寺が夏見廃寺と考えられています。

問18 【答え】(3) 持統天皇

解説：『続日本紀』によると、日本で最初に火葬されたのは僧道昭で文武4(文武天皇・700)年でした。天皇では持統天皇が初めて火葬され、遺骨は金銅製の骨蔵器に納められて天武天皇の陵^{みかさぎ}に葬られました。大村は、大宝3(同・703年)に行われた葬儀において、御装長官の穂積親王を輔佐する三人の副官の一人に任ぜられました。

問19 【答え】(4) 開発前の白鳳台南端

解説：古老の話では、今泉下寺^{しもんてら}の西の山にあったといわれます。『大和志料』(奈良県教育会)には、「小松杜 志都美村大字今泉ニアリト云フ」とあり、また古今和歌六帖には、「片岡の小松のもりの時鳥 ほのかにそ鳴戀^{こい}しかるへし」とあり、ホトトギスが卵を産み付ける習性があるという鶯の巣との関連で、「鶯の森」という今泉の伝説が当地に当たると考えられます。

問20 【答え】(2) 鯉

解説：平城京長屋王邸跡からは、片岡司から長屋王邸に運ばれた進上物などを記した木簡が出土し、当時の女性たちによって多くのものが長屋王邸に進上されたことが記されています。これらを栽培する菜園や池沼、果樹園などが片岡にもあったと思われ、片岡司は敏達天皇及びその後裔の資産であり、天武天皇、高市皇子から長屋王へと伝領されたとも考えられます。

問21 【答え】(1) 天平寶字元(757)年

解説：『大日本地名辞書』大和國の項に「大倭國^{おおやまと}は聖武天皇天平九年改めて大養德^{おおやまと}と為し、十九年復舊大倭の字を用い、孝謙天皇天平寶字元年更に改めて大和と為す」とあります。

問22 【答え】(4) 平田荘

解説：藤原摂関家の荘園であった平田荘は、現在の橿原市、明日香村、大和高田市、葛城市、香芝市に亘っていた大和国最大の荘園でした。出雲荘は現在の桜井市周辺、土田荘^{へぐり}は平群町周辺、田村荘は奈良市の一部と天理市周辺がその範囲でした。

問23 【答え】(1) 深溝神社

解説：『香芝町史』では、所在不明の深溝神社を鹿嶋神社と推定しています。その根拠として「宮の杜」と呼ばれる鹿嶋神社の社地が条里制の一坪の広さを占め、背景に下田の集落があること。式内社の分布原則に合致し、近くの葛下川は深溝の名のとおり築堤のない川であることを挙げています。

問24 【答え】(2) 王寺町

解説：「神戸」は、現在の葛城市疋田・大畑^{ひきだ おぼたけ}辺り。「山直」は、市内逢坂^{ふさ}辺り。「高額」は、葛城市染野^{そめの}辺り。「賀美」は、市内上中^{かみ}辺り。「蓼田」は、大和高田市高田^{たか}辺り。「當麻」は葛城市當麻^{たうま}辺りであったと『大和志料』などに見えますが、確定されたものではありません。

問25 【答え】(1) 卜部正親

解説：源信の父として伝わる卜部氏は、葛城の神・葛城一言主神社の古卜部家の末裔^{まつえい}とされています。卜部氏は、伊豆・沓岐・対馬・鹿島神宮・宗像神社^{むなかた}の他、陸奥・下総・駿河・近江・因幡等の伝承にも残る姓です。

問26 【答え】(4) 往生要集

解説：往生要集は源信^{かん}が寛和元(花山天皇・985)年に、浄土教の観点より、多くの仏教の経典や論書等から極楽浄土に関する重要な文章を集めた仏教書です。これによって浄土教の基礎を創った他、後の文学思想にも大きな影響を与えました。(1)は聖聡^{しょうそう}、(2)は鎮源^{ちんげん}、(3)は最澄^{さいちょう}によるものです。

問27 【答え】(4) 承安2(1172)年高倉天皇の頃

解説：鹿嶋神社は承安2(高倉天皇・1172)年3月、源義朝の家臣であった鎌田兵衛藤原政清の子、小次郎政光^{ひたちのくに}が常陸国(茨城県)鹿島神宮の御分霊^{たけみかづちのみこと}(武甕槌命^{かんじょう})を勧請したのが始まりとされています。現本殿は一間社春日造の檜皮葺で、大正年間の改築で、拝殿・絵馬殿・山車殿・社務所などの主な建物は、昭和58(1983)年以降、随時改築されていきました。また、同社には氏子の宮座である結鎮座があります。

問28 【答え】(4) 如来

解説：如来、菩薩、明王、天の順になります。如来は、悟りを開いた者や真理に到達した者を意味します。菩薩は、悟りを求めて修行中の者をいい、明王は、密教系の仏神で、悪魔を退治する役目を負い、怖い表情をしています。天は、仏を守る神々です。インドや中国の民族宗教の神々が仏教化したものとされています。

問29 【答え】(1) 真継家

解説：真継家^{じげかんにん}は地下官人。地下官人とは朝廷の機構や行事の運営実務を担当した下級の官人のことで、近世では真継家^{くろうどかたすいとう}は蔵人方出納の平田氏の統轄下にありました。真継家は、朝廷の権威を背景に全国の鋳物師を支配することを家職としていました。(2)(3)(4)は五摂家^{くげ}の公家で、公家の家格の頂点に立った家です。

問30 【答え】(4) 長野県

解説：下田鋳物師は、13世紀中頃以降18世紀初頭にかけて活躍し、初期には中部・東海地域の梵鐘に多くの名品があります。弘安2(北条時宗・1279)年の松原諏訪神社梵鐘(長野県小海町)と文明3(足利義政・1471)年の金峯山蔵王堂銅製燈籠(吉野町)が国の重要文化財となっています。特に長野県と岐阜県にその作品が集中しています。

問31 【答え】(2) 観音寺(田尻)

解説：真言宗の寺院。本尊は十一面千手観音菩薩立像で、高さ約90センチメートル。この観音像は、「身替観音」「矢受観音」と呼ばれています。伝説では、楠木正成が敵の矢を受けたが無傷であったといい、観音像にはそのときの傷が残っているといわれます。

問32 【答え】(3) 三輪神社

解説：鎌倉時代末頃、楠木正成が一つの観音像を尊信^{せるたに}して芹生谷(大阪府南河内郡河南町芹生谷^{かなんちようせりゆうたに})に祀っていたのを田尻の里に土地を求め観音堂を建立し、後ろの小山を神体山として三輪神を勧請し、今日に至ったと伝わっています。

問33 【答え】(3) 片岡利盛

解説：興福寺大乘院門跡尋尊^{もんぜきじんそん}の日記である『大乘院寺社雑事記』の文明14(足利義尚^{よしひさ}・1482)年9月15日の条に、「片岡雲門寺藏主八十二歳入滅、当国天魔三人之内也・・・」と片岡利盛が死去したことが記されています。

問34 【答え】(3) 綿

解説：奈良盆地は大和木綿の産地で、水不足を補うため稲と綿を数年ごとに交替して栽培する、田畑輪換農法^{でんばたりんかん}が全国に先駆けて普及していました。

問35 【答え】(2) 岡周防守

解説：天正元(足利義昭・1573)年8月8日から9月1日の小谷城の戦いで信長が勝利を収め、浅井氏は滅亡しました。岡周防守は、同年9月11日付けで戦後処理を申し付けられています。その後岡氏は、柴田勝家から人質を差し出すよう要求されて渋ったことや、松永久秀^{だんじょう}(弾正)に属したことなどから天正8(同・1580)年に信長によって滅ぼされたとされていますが、真相は不明です。

問36 【答え】(2) 明智光秀

解説：岡氏らのような元来筒井氏にとって外^と様の^{ぎま}な国衆^{くにしゅう}である危険分子を取り除いて、筒井氏による国衆支配を強化するという狙いは、織田信長の指示であったと考えられています。この事件から後、岡氏は歴史上から姿を消しますが、一時は信長^{くみ}に与^よっていた岡周防守は、慶長7(1602)年まで生存していました。

問37 【答え】(4) 逢坂村

解説：逢坂村は、はじめ備中松山藩で領主小堀遠州の陣屋移転により近江小室藩領となりました。穴虫村も近江小室藩領でしたが、幕府との相給^{あいきゅう}(分割支配地)でした。江戸初期に幕府領であった村は、五位堂・鎌田・良福寺・狐井・畑・関屋(関屋・田尻)・磯壁・上里(上中・今泉・北今市)・平野・畠田(尼寺)の各村々です。別所・瓦口は、旗本水野氏知行^{ちぎょう}(土地支配者)。下田(下田・五ヶ所)は、御所藩領^{ごせ}でした。その後、郡山藩や近江水口藩^{みなくち}(滋賀県)、下野壬生藩^{しもつけみぶ}(栃木県)などの所領に変更されるなど、年貢にまつわる数奇な運命をたどった村々もあったようです。

問38 【答え】(4) 津田五郎兵衛

解説：津田五郎兵衛は、慶長19(徳川秀忠・1614)年、方広寺の大鐘の鑄造に脇棟梁として参画^{くぜんあん ちやくし}し、口宣案(勅旨伝達時に作られる文書)「藤原求次周防少掾^{しょうじょう}」を賜りました。津田家は、寛文4(徳川家綱・1664)年の口宣案で「大和大目藤原定次」を賜り、また享保15(徳川吉宗・1730)年8月には「大工津田大和藤原家次」を賜っていますが、代々踏襲されていくのは藤原定次になります。

問39 【答え】(2) 竹村嘉理

解説：佐渡奉行は、慶長6(1601)年に設置された江戸時代の遠国奉行の一つ。当初は佐渡代官と呼ばれており、元和4(徳川秀忠・1618)年に着任した竹村嘉理の代から佐渡奉行と呼ばれるようになりました。なお、竹村嘉理の兄は竹村道清といい、初代の大久保長安の死後、石見銀山第二代奉行となりました。

問40 【答え】(4) 西村

解説：慶安3(徳川家光・1650)年の古文書こもんじょに中筋村・今市村・高村・西村の名がみえ、その後、中筋村から上里村が旧名を用いて分離し、西村も今泉村と改称しました。今市村は、同じ郡内の南今市村(葛城市)と区別するため、享保頃から北今市村と称するようになりました。

問41 【答え】(1) 徳藏院(五位堂)

解説：万治2(徳川家綱・1659)年に明の僧・隠元が宇治の万福寺開山おうぶくしゅうで黄檗宗を日本に伝えました。その14年後の延宝元(同・1673)年、大眉性善だいびしょうぜん(姓は陳)によって禅道場が開かれたのが徳藏院の起こりと伝わっています。徳藏院は、市内唯一の黄檗宗の寺院です。

問42 【答え】(2) 五位堂村

解説：本百姓は、高持百姓とも呼ばれ様々な権利を与えられた、いわば公民権を持つ農民でしたが、持高に応じて年貢を納める義務を負っていました。水呑百姓は、土地も権利も与えられない農民でしたが、年貢を納める義務はありませんでした。

問43 【答え】(3) 穴虫

解説：二上駅西側に広がる地域で、「東穴虫」「穴虫東」とも呼ばれています。「馬場」は文字通り、馬術の鍛錬をする場として設けられたもので、年々の祭日には穴虫に伝わる相撲行事とともに神事として乗馬武技を奉納したのではないかと考えられています。

問44 【答え】(4) 良福寺村

解説：宝暦3(徳川家重・1753)年末に起こった芝村騒動は幕府により鎮圧されましたが、寛政6(徳川家斉・いえなり1794)年に預かり地における芝村藩の役人による不正が発覚し、幕命により藩主・織田長教ながのりをはじめとする要人が処罰され、預かり地も総て召し上げられるに至りました。

問45 【答え】(4) 志都美村

解説：嶽郷は、嶽(二上山)の水で稲作を行っている村々のこと。香芝市内の旧二上村・下田村・五位堂村、大和高田市の旧陵西村おかにし・浮孔村うきあな・高田村いわその・磐園村どんご・土庫村・松塚村、葛城市の旧當麻村いゐま・磐城村・新庄村に相当する地域が「嶽郷四十八ヶ村」と呼ばれていました。

問46 【答え】(1) 約4.7人

解説：明治24(1891)年の『大和国町村誌集』によると、明治15(1882)年頃と思われる戸数は1,981戸。人口は、9,262人となっていることから、1戸あたり約4.7人となります。なお、平成30(2018)年11月末現在の世帯数は31,208世帯、人口が79,470人で、一世帯当たり約2.5人となっています。

問47 【答え】(1) 善光寺

解説：明治時代中頃、小林源三郎を棟梁として善光寺信徒の塔再建計画が持ち上がりましたが、寺側の消極さと資金欠乏とで頓挫してしまいました。源三郎は、大和の神社仏閣の建築設計に天才的な技ふるを揮い、大和の宮大工として、多くの弟子を育成されました。

問48 【答え】(4) 送迎村

解説：委員会が示した案には、多くの村々が難色を示したため、委員会はこの案を撤回し、改めて各村々による合併協議が整うまで待つことにしたようです。

問49 【答え】(1) 上中

解説：上中地区の最北端の集落。戦国時代、片岡氏の支城であった木辻城^{きのつじじょう}の門があったことから「(御門)三角」と呼ばれたとも。住所の表示の町名は、上中です。

問50 【答え】(4) 北丹後地震

解説：全国統一防火運動のきっかけとなったのは、昭和2(1927)年3月7日に丹後西北部を襲ったマグニチュード7.5の北丹後地震でした。3,711戸が焼失したことで、3年後に奈良県を含む近畿2府3県が始めた防火運動をきっかけに全国に広まっていました。

問51 【答え】(2) 明治24(1891)年に王寺・高田間が開通し、その翌年、下田駅（現・香芝駅）が開業した。

解説：大阪鉄道（初代）により王寺・高田間の営業が開始されたとき、下田駅も同時に開業しました。屯鶴峯駅は、昭和12(1937)年に大阪鉄道（二代目）の臨時駅として開業し、昭和20(1945)年に休止、昭和49(1974)年に廃止されました。

問52 【答え】(4) 吉野葛（谷崎潤一郎）

解説：(1)の『死者の書』の舞台が當麻寺を麓にもつ二上山、(2)の『剣の四君子』は、二上山が舞台ではありませんが、冒頭に主人公である柳生石舟斎^{しゅうせい}の兄が二上山の合戦で討死したとされ、(3)の『風の王国』は、二上山がある葛城山系に住んでいた「箕作り」^みの一族の末裔^{まつえい}たちの行動や父祖が受けた迫害を通して社会に問題提起した小説です。

問53 【答え】(3) 昭和14(1939)年3月

解説：警防団は、一種の民兵的組織で、それまでの消防組（現在の消防団）を編成替えして発足しました。各村に1団（下田村警防団・五位堂村警防団・二上村警防団・志都美村警防団）ずつ組織され、各大字には分団が置かれました。

問54 【答え】(3) 天皇や皇族に縁が深い神社が神宮と呼ばれている。

解説：神道の神様などを祀り、祭事が行われたり参拝できたりする社が神社と呼ばれています。そのうち神宮は答えのとおりで、奈良県内の代表的な神宮に、橿原神宮（神武天皇）、吉野神宮（後醍醐天皇^{いそのかみ}）、石上神宮（布都御魂剣^{ふつのみたまのつるぎ}）があります。因みに春日大社などの「大社」とは、同名の神社の中の本家に当たる神社のことをいうそうです。

問55 【答え】(4) 北向き

解説：東向きが9社、南向きが9社と多く、西向きが2社あります。東向きは神武天皇が太陽を背にして東側から戦った説、南向きは風水思想の「天子南面す」からという説がありますが、定説はないようです。全国には少数ながら西向き又は北向きの鳥居をもつ神社があります。なお、設問では、鳥居が複数ある神社については本殿に近い方の鳥居の向きに算入しています。因みに西向き2社はいずれも春日神社（下田東・磯壁）で、奈良春日大社の一の鳥居が西向きなのと関連があるかも知れません。

問56 【答え】(3) 五位堂地区

解説：五位堂六丁目の住宅街にあります。神武天皇が即位したとされる年から2,600年目にあたる昭和15(1940)年、日本国内で様々な神事が行われました。11月10日には国をあげて大式典が執り行われましたが、遠方のため参詣できない人々が近所の神社や路傍に榎原神宮に向けて参拝できるように遙拝所を造ったようです。

問57 【答え】(4) 民家

解説：五位堂村は、明治22(1889)年からの自治体名でしたが、昭和31(1956)年の香芝町発足に伴い、合併によって村はなくなりました。役場跡は、払い下げられて現在は民家となっています。下田村役場は、合併後の町役場となり、役場が新庁舎へ移転後、老人福祉センター、シルバー人材センターと変遷し、現在は取り壊されています。二上村及び志都美村役場跡は J A の事務所となっています。

問58 【答え】(4) カタカナ

解説：「カシバ」を図案化したものです。円形にまとめたのは和の精神を表し、両横に張り出した翼の形は将来への発展飛躍を表徴する（市告示文）。昭和34(1959)年に一般公募し、12名の審査委員の審査により8月11日に決まりました。なお、正式に告示されたのは昭和51(1976)年4月1日です。

問59 【答え】(2) 300人

解説：分川池の管理釣り場は、埼玉県に本社のある会社によって運営されています。年中無休で夜明けから午後4時まで利用できるようです。

問60 【答え】(1) しれだ川

解説：享保9(徳川吉宗・1724)年の『和州葛下郡今泉村諸色明細帳』の川筋者の^{くだり}件に「葛下川、竹田川、しれだ川、半田川」と記されています。今泉地区から志都美小学校への通学路の平野川の下流に通称「しれだ橋」がかかっています。

問61 【答え】(3) 40年ほど前までは一日かけて収集業務を行い、夕方の最後の収集車が「赤とんぼ」を奏でて最後の収集だということを知らせていた名残。

解説：当時は、収集業務の始まりを知らせる鐘を鳴らしながら「先走りの車」が通り、それを聞いた住民がごみ箱を出し、夕刻に最後の収集車が赤とんぼを奏でながら収集業務の終わりを知らせていました。多くの自治体が兵庫県西脇市にならって「赤とんぼ」を採用したそうです。ごみ箱がごみ袋に変わり、先走りの鐘の音が消えても収集車が奏でる「赤とんぼ」のメロディーは受け継がれているようです。

問62 【答え】(1) 地殻変動観測所

解説：昭和42(1967)年6月、屯鶴峯地下壕の坑内に現在8カ所ある京都大学防災研究所地震予知研究所の観測所の一つとして設置されました。観測所の庁舎は、北東方向約1キロメートルほどの所（生喜病院西隣）にあり、坑道内の遠隔記録室からデータが電送されています。

問63 【答え】(2) 昭和43(1968)年3月

解説：香芝市上水道は、昭和42(1967)年10月に一部の既設簡易水道と周辺地区を対象に給水を開始し、翌年3月に「上水道第1次拡張事業」として市内一円への給水が始まりました。

問64 【答え】(2) 旧下田村地区

解説：昭和45(1970)年当時、香芝の中心は下田であると誰もが認めるところでした。その後、昭和60(1985)年頃から真美ヶ丘ニュータウンへの入居が急速に進み、昭和62(1987)年に五位堂駅に急行が停車するようになってから銀行や多くのテナントが開店し、駅北側に賑わいのある街並みが形成され、下田が中心と言い切れなくなりました。

(当時の人口 下田地区5,933人 五位堂地区4,857人 二上地区5,720人 志都美地区3,223人 計：19,733人)

問65 【答え】(3) 昭和47(1972)年

解説：昭和47(1972)年3月12日の「さよならSLワカヤマライン号」を最後に、国鉄和歌山線の蒸気機関車の営業運転が廃止されました。その後、昭和55(1980)年3月に電化されるまで、生徒たちはディーゼルカーを利用して通学していました。

問66 【答え】(2) 超低周波空気振動がもたらす健康被害

解説：西名阪自動車道の高架橋で超低周波（2～63ヘルツ）が発生し、健康被害が生じているとして、周辺住民が日本道路公団を相手取って訴訟を起こしました。「西名阪公害追放上中・今泉被害者同盟」が結成され8年間の法廷闘争の後、日本道路公団が高架橋の両側を買収して約7メートルの側道をつけるとともに高架橋に振動防止柵を設置。隣接家屋を買収し、和解金を支払うことで解決しました。

問67 【答え】(3) ギフチョウ

解説：本州の中部以西の里山だけに生息し、毎年4月初旬に成虫となります。二上山に数多く棲息していましたが、今ではほとんど見られなくなっていました。葛城山にはカタクリの群生地があって発見例が多く、インターネットサイト上でも報告されています。二上山にも戻ってくるよう願って止みません。

問68 【答え】(3) 下田西二丁目

解説：住居表示は、「住居表示に関する法律」の規定により道路等に囲まれた部分を「街区」として番号を振り、住居の主な出入口の位置によって「住居番号」を付け、「○（街区番号）番○（住居番号）号」と表します。これが適用されている地区は、下田西一丁目～三丁目、下田東二丁目と四丁目、藤山一丁目、関屋北二丁目～七丁目、磯壁五丁目、畑七丁目、真美ヶ丘一丁目～七丁目です。それ以外の地区は、地番で表しています。

問69 【答え】(2) 昭和51(1976)年

解説：昭和31(1956)年4月に4村が合併したとき、旧下田村役場の庁舎をそのまま利用して町役場としました。その後、急速な人口増により現在の庁舎を建設しましたが、あっという間に手狭になり、平成10(1998)年に完成した総合福祉センターに福祉部門が移されました。

問70 【答え】(1) 北緯34° 32′

解説：奈良市の古美術写真家・古代文化研究者の小川光三^{こうぞう}(1928-2016)が命名した「太陽の道」上には、室生寺(宇陀市)、三輪山・箸墓古墳(桜井市)、須賀神社・菅原神社(田原本町)、日大御神社^{ひのおおみ}(広陵町)、大鳥神社(堺市)等があります。香芝市では、磯壁の鎌芝稲荷社(長山神社)と穴虫峠を通っています。

問71 【答え】(4) 17クラス

解説：昭和56(1981)年の新1年生のクラスが17あったときがいちばん多く、翌昭和57(1982)年4月に香芝西中学校が開校したことにより、超マンモス校のクラス数が緩和されました。

問72 【答え】(4) 真美ヶ丘西小学校

解説：学校として定めた服装が制服、それに準ずるものとして一定の基準を示した服装を標準服といいます。標準服を採用しないとした真美ヶ丘西小学校の次に開校した旭ヶ丘小学校では、標準服採用の是非について保護者を交えて激論がありましたが、最終的に標準服を採用することになりました。

問73 【答え】(2) 石田清茂

解説：平成3(1991)年10月1日、奈良県で10番目の市として誕生したとき、昭和59(1984)年から香芝町長であった2期目の石田清茂氏が初代の香芝市長となりました。

問74 【答え】(3) 明治初期まで村であった証として

解説：大字は、明治の町村合併の折に、元々の村の名を大字として字名の前に付け、名称を残すためだったようです。また、江戸時代の藩政村の下にあったものが小字とされています。

問75 【答え】(2) 和同開珎

解説：穴虫の高山火葬墓から、国内で貨幣として最初に流通した「和同開珎」が31点出土しました。この火葬墓は約1メートル四方の隅丸方形の穴の底に木炭を敷き詰め、その上に外容器として木櫃^{もくひつ}を納める構造です。骨蔵器とともに火葬骨が出土していることから2～3人の火葬骨を埋葬した合葬墓と考えられます。和同開珎の他、奈良時代官人の象徴である巡^{じゅんほう}方^{まるとも}や丸^{かた}鞆^{たい}などの鈿^{かた}帯^{たい}金具が出土しています。

問76 【答え】(2) 約6メートル

解説：たんだの椿の祠には白い菊と水がよく供えられています。「平野千軒」はここから少し西にあったとされ、そのあたりにあった片岡氏ゆかりの雲門寺と関係があるのかもしれません。椿の見頃は3月から4月上旬です。

問77 【答え】(4) 尼寺廃寺跡

解説：尼寺廃寺跡にあった寺院は、7世紀後半に創建され、寺域は南北110メートル以上、東西約80メートルとみられ、中心伽藍は東向きの法隆寺式伽藍があり、僧寺と尼寺とされる北廃寺と南廃寺の配置とみられます。寺院は、平安時代初期の9世紀から10世紀の間に消失したと考えられています。

問78 【答え】(1) 大規模災害相互物資援助協定

解説：この二つの自治体との協定は、平成8(1996)年に香芝市が初めて他の自治体と締結した災害協定です。これを契機に平成10(1998)年、滋賀県栗東市^{りっとう}(当時は栗東町)と(3)の協定を、平成16(2004)年に千葉県袖ヶ浦市・埼玉県鶴ヶ島市・埼玉県日高市・大阪府阪南市・東京都羽村市との間で「平成3年生まれ同期市自治体災害時相互応援に関する協定」が締結されました。

問79 【答え】(4) 二又池

解説：二又池は、逢坂地区にあった800平方メートル余りのため池で、平成10(1998)年にオープンした総合福祉センターの敷地の一部として埋め立てられました。

問80 【答え】(1) 平成10(1998)年

解説：9月22日、先に上陸した台風8号に続いて2日連続で上陸しました。市内での最大瞬間風速は、56.8メートルを観測し、第二室戸台風に次ぐ強風が吹き荒れました。

問81 【答え】(1) 今泉の畑之浦旧集落を越えた南側辺り

解説：法隆寺の太子道再興の動きと呼応するように、市民らが立ち上がりました。道を保存し、市内に点在する伝承地を「街の活性化に生かしたい」と考え、法隆寺や市に協力を求め、平成9(1997)年に「太子を偲ぶ道顕彰会」を設立し、顕彰碑を建立されました。なお、太子道（太子葬送の道）は法隆寺から市内尼寺→今泉→旭ヶ丘→逢坂→高山台→穴虫えいふくを通して太子町叡福寺ごびょうの御廟まで続いています。

問82 【答え】(4) 有村架純

解説：有村架純は6歳の時、五位堂幼稚園を卒園しています。卒園時の写真がバラエティ番組出演時に放映され、それが五位堂幼稚園の卒園式のものでした。

問83 【答え】(1) 森谷

解説：森谷姓が16件、田中姓が15件、山本姓が14件、山口姓が13件ありました。携帯電話の普及と個人情報への保護意識から電話帳への掲載取りやめと削除要請の増大によって、平成13(2001)年4月にNTT東日本とNTT西日本は、「ハローページ」(50音別電話帳)を希望者にだけ配付することを決めました。

問84 【答え】(2) 教養をふかめ、文化をたかめるまちをつくります。

解説：香芝市民憲章は、平成13(2001)年の市制施行10周年を記念して制定されました。設問にない残り2つの標語は、次のものです。

- ・であいを大切にし、共に生きるまちをつくります。
- ・いのちを大切にし、住みよいまちをつくります。

問85 【答え】(2) 20

解説：財産区とは、明治22(1889)年の町村制の施行時に、それまで一村共有地やそれに準じて保有していたため池や入会地等いりあいちの財産を引き続いて保有することを認める制度として、法人格が認められた団体です。その財産は、市の管理財産ではなく財産区の財産とされました。香芝市の場合、財産区の殆どが明治の町村制当時に村として存在していた旧大字です。

問86 【答え】(4) 703号

解説：香芝市内を通過している県道は、県道30号御所香芝線、県道54号香芝インター線、県道105号中和幹線、県道203号上中下田線、県道703号香芝太子線の5路線があります。県道番号は、平成元(1989)年4月1日から設置され、700番台の路線は他府県との越境一般県道に付番されます。

問87 【答え】(1) 伊福部豊足

解説：平安時代の井戸から出土した木簡には、上司宛と思われる内容で、「死にそうですので、もうお仕えできません」というようなことが記されていました。彼は、殷富門^{いんぷもん}という平安京大内裏の外郭十二門の警備を担当していました。

問88 【答え】(1) 震度 5 強

解説：政府の中央防災会議によると、遠州灘西部から四国沖までの沿岸部の所々で震度 7、県下でも南部の一部で震度 6 弱、北西部で震度 5 強の強い揺れが想定されています。

問89 【答え】(3) 五木寛之

解説：五木寛之の小説『親鸞』は、平成21(2009)年から朝日新聞に連載された長編小説で、翌年に上巻が発売され、現在では青春篇・激動篇・完結篇の 3 部作として刊行されています。

問90 【答え】(2) 5 番目

解説：国土技術政策総合研究所資料の『市町村別高木本数（市町村道）』によると、奈良市19,658本、生駒市5,928本、橿原市3,031本、天理市2,938本に次いで香芝市は2,733本でした。次が大和郡山市の1,800本なので、香芝市の市道には結構多く植栽されているのではないのでしょうか。

問91 【答え】(4) 700戸余り

解説：香芝市では空き家の認定にあたり、住宅地図情報や水道情報などとともに目視によって調査が行われ、空き家ではないものが359戸、空き家として決定的な根拠が無いものが358戸、合わせて717戸が空き家ではないと判定し、実際の空き家率も7.5%程度であることがわかりました。

問92 【答え】(3) 9 駅 **平成31(2019)年 3 月に、おおさか東線「J R 淡路」が開業して10駅になっています。**

解説：「J R 難波」「J R 藤森^{ふじのもり}」「J R 三山木^{みやまき}」「J R 小倉」「J R 五位堂」「J R 長瀬」「J R 河内永和」「J R 俊徳道」「J R 総持寺」（開業・改名順）の 9 駅です。そして、J R を冠した駅は J R 西日本にしかありません。J R 五位堂駅の開業時は、J R を冠した 5 駅目として開業しましたが、平成20(2008)年 3 月におおさか東線の 3 駅が、また平成30(2018)年 3 月に J R 総持寺駅が開業しました。

問93 【答え】(1) 5 番目

解説：奈良県内の自治体の人口は、多い順に奈良市、橿原市、生駒市、大和郡山市、香芝市、天理市、大和高田市、桜井市、葛城市、広陵町、田原本町、五條市、宇陀市、斑鳩町、御所市・・・の順となっていて、市よりも人口が多い町もあります。

問94 【答え】(3) 20店舗

解説：セブンイレブンとローソンがそれぞれ 7 店舗で、ファミリーマートが 6 店舗あります。志都美地区のラーメン店「来来亭」東側にあるファミリーマートは上牧町域になりますが、市内からのアクセスを考えると大手コンビニは、7 店舗ずつの横並びの感じです。

※セブンイレブン香芝穴虫西店は、平成30(2018)年末に閉店されました。

問95 【答え】(4) 御所市

解説：香芝市は、推計人口78,530人に対し39医院、一医院あたり2,014人で市では8番目でした。御所市が25,511人に対し17医院で、1,501人でいちばん少なく、大和高田市が62,658人に対し39医院で、1,607人、橿原市が122,543人に対し71医院で、1,726人となっています。

問96 【答え】(2) 香芝駅

解説：現在、ブックポストが設置されているのは、五位堂駅北口・二上駅北口・志都美駅西口・関屋駅北口です。駅前ではありませんが、ふたかみ文化センターの玄関西側にもあります。香芝駅は、市民図書館の最寄りの駅であるため、設置優先順位は低いと思われます。

問97 【答え】(2) 400名余り

解説：平成30(2018)年5月末日現在の会員登録数は、433名です。シルバー人材センターで扱う仕事は、臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事に限られ、健康で働く意欲のある概ね60歳以上の方が会員として登録されています。

問98 【答え】(3) 地区内の民家を解体撤去するときに見つかった。

解説：地区内で空き家となった民家の所有者が解体撤去する折に見つかりました。

問99 【答え】(4) 15カ所

解説：音響式信号機とは、信号機が青になったことを視覚障害者に知らせるため、誘導音を出す装置が付いている信号機のことです。メロディー式と擬音式の2種類があります。香芝市に設置されているのはいずれも擬音式で、原則東西方向が青の時は「カッコー」、南北方向が青の時は「ピヨピヨ」と鳴ります。

問100 【答え】(3) 9カ所

解説：市営自転車駐車場は、平成4(1992)年から順次整備され、現在9カ所あります。身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付されている人は、一時利用の場合に全額、月極利用の場合は、事前に減免申請をすることによって半額が免除されます。

3. 卷末資料

◆第7回香芝検定 香芝の沿革 p29～p34

香芝町が誕生するまでの変遷

年	月 (日)	出 来 事
慶応4 (1868)年	1月21日	天領であった奈良に大和鎮台を置き、その後奈良県と名を変える。
	5月19日	高取藩預かり所、奈良奉行所及び133カ所の代官所、旗本、神社、寺院社家管理領等を奉還する。
		三治の制（府・藩・県） 奈良県を設置（旧幕府領と旧旗本領、寺社朱印地を管轄） 諸藩領はそのまま県と藩が併存。郡山藩（15.1万石）・高取藩（2.5万石）・小泉藩（1.1万石）・櫛羅藩（1万石）・芝村藩（1万石）・柳生藩（1万石）・柳本藩（1万石）・田原本藩（1万石）及び津藩・久居藩・和歌山藩・下野壬生藩（栃木県）・大多喜藩（千葉県）には徴税権と軍事権が付与されていた。
		逢坂村（幕府領）、穴虫村（幕府と郡山藩の相給）、瓦口村・別所村（旗本水野家の知行地）、鎌田村（下野壬生藩） その他16村（郡山藩）
	7月29日	奈良県を奈良府に改称
	9月8日	明治と改元（慶応4年1月1日に遡って適用。一世一元の制・即日改元）
明治2 (1869)年	6月17日	諸藩主の版籍奉還を許し、従来の藩主を知藩事に任命
	7月17日	奈良府を奈良県と改称
明治3 (1870)年	2月27日	五條県を新設（宇智郡・吉野郡と河内国石川郡・錦部（にしごり）郡、紀伊国伊都郡）
明治4 (1871)年	1月	寺社領を没収し、府・藩・県の管轄とする。
	7月14日	廃藩置県（府・県 二治の制）の詔書：3府302県 奈良県・五條県・郡山藩・高取藩・小泉藩・櫛羅藩・芝村藩・柳生藩・柳本藩・田原本藩の大和八藩及び津藩・久居藩・和歌山藩・下野壬生（しもつけみぶ）藩・大多喜藩が県となる。
	11月22日	全国の県を改廃。3府72県とし、府知事・県令を設置。第1次府県統合 奈良県、五條県及び旧藩の13諸県を廃止し、奈良県を設置 県内を添上郡・添下郡・平群郡・山辺郡・式上郡・式下郡・十市郡・宇陀郡・高市郡・広瀬郡・葛上郡・葛下郡・忍海郡・宇智郡・吉野郡の15郡に分け統轄する。
明治5 (1872)年	5月	奈良県を15大区（旧15郡）199小区とする。小区は千石程度とする。 葛下郡は第10大区16小区となる。
		奈良県管轄の香芝市域 ・第10大区2小区 北今市村・今泉村・平野村・高村・上里村・中筋村・畠田村 ・第10大区4小区 逢坂村・穴虫村・関屋村・田尻村 ・第10大区5小区 磯壁村・畑村 ・第10大区6小区 別所村・瓦口村・狐井村 ・（不詳）五位堂村・良福寺村・鎌田村・下田村・五ヶ所村
	11月～	大区の事務所として会議所を設ける。
明治7 (1874)年	10月	会議所条例により10大区に編成 香芝を含む葛下郡の北部、平群郡・広瀬郡・式下郡は龍田の第3会議所（第3大区）に属する。
		奈良県管轄の香芝市域 ・第3大区9小区 別所村・瓦口村・五位堂村・良福寺村・鎌田村・狐井村・下田村・五ヶ所村 ・第3大区10小区 北今市村・逢坂村・穴虫村・関屋村・田尻村・磯壁村・畑村・今泉・平野村 ・第3大区11小区 高村・上里村・中筋村・畠田村
明治9 (1876)年	4月18日	府県統合政策により奈良県が堺県に併合される。
	12月	堺県管轄・大和国は5大区24小区に改編 ・大和国第2大区4小区 北今市村・今泉村・平野村・高村・上里村・中筋村・畠田村 ・大和国第4大区1小区 別所村・瓦口村・五位堂村・良福寺村・鎌田村・狐井村・下田村・五ヶ所村・逢坂村・穴虫村・関屋村・田尻村・磯壁村・畑村
明治11 (1878)年	7月22日	郡区町村編成法が公布 地方行政区の再編成 府・県（府知事・県令）、郡（郡長）、町村（戸長）の行政組織
明治13 (1880)年	4月	大和に奈良町・三輪町・御所町・五條町に郡役所を設置 御所町に高市郡・葛上郡・葛下郡・忍海郡の郡役所を置き、7つの連合戸長

		役場を配置 香芝全域の村は、王寺村・藤井村・上牧村・下牧村・加守村とともに第3連合戸長役場（葛下郡のうち22村）に編成される。 下田村真宗寺内に戸長役場を開設
明治14(1881)年	2月7日	堺県が廃止され、大阪府が併合する。 大阪府は摂津・河内・和泉を重視する政策を展開 大阪府管轄 ・下田村・五ヶ所村連合戸長役場 ・各村戸長役場
明治17(1884)年	7月1日	区町村会法（明治13年制定）の改正により戸長役場の管理区域拡大 高市郡・葛上郡・葛下郡・忍海郡の郡役所部内に47の戸長役場を置く。
明治17(1884)年 ～ 明治21(1888)年		大阪府管轄 ・第39戸長役場 五位堂村・瓦口村・良福寺村・別所村・鎌田村 ・第41戸長役場 穴虫村・関屋村・畑村・田尻村・磯壁村 ・第42戸長役場 下田村・北今市村・逢坂村・五ヶ所村・狐井村 ・第44戸長役場 上里村・中筋村・高村・畠田村・平野村・今泉村 番号での呼称は不評で、やがて戸長役場が置かれた村名をとって、それぞれ五位堂村外4か村戸長役場、穴虫村外4か村戸長役場、下田村外4か村戸長役場、上里村外4か村戸長役場と呼ぶようになる。
明治20(1887)年	11月9日	奈良県を大阪府から分置する勅令発布 （明治15(1882)年11月29日分置県請願書を内務卿に提出）
	12月1日	奈良県が再設置される。
明治21(1888)年	4月2日	上里村と中筋村が合併し、上中村となる。
	4月25日	市制・町村制公布
明治22年(1889)	4月1日	市制・町村制施行 大々的な町村合併が行われ、奈良県では183町1306村が10町※152村（142村2組合村）となり、葛下郡は75村が1町13村1組合村となる。 合併の基準：500戸程度、地形や人情を参考にし、町村名は歴史的なものを 用いて民情に配慮する。 ※10町（奈良町、高田町、郡山町、八木町、今井町、五條町、御所町、田原本町、松山町、上市町） 葛下郡五位堂村、瓦口村、良福寺村、別所村、鎌田村 →五位堂村（大字五位堂／初代村長・小川文五郎） 葛下郡穴虫村、関屋村、畑村、田尻村、磯壁村 →二上村（大字畑／初代村長・吉田久一） 葛下郡下田村、北今市村、逢坂村、五ヶ所村、狐井村 →下田村（大字下田／初代村長・西島伊一郎） 葛下郡上中村、高村、畠田村、平野村、今泉村 →志都美村（大字今泉／初代村長・牧浦治平） 五位堂村：他村より人口が多く、中心的存在であった。 二上村：二上山から名称が決定される。 下田村：下田が中心的存在であった。 志都美村：今泉村の志都美神社から名称が決定される。
明治23年(1890)	5月	府県制を公布
明治30年(1897)	4月1日	県内15郡を10郡に統廃合 葛下郡・広瀬郡を併せ北葛城郡が発足
	8月1日	郡制を実施 各郡に郡役所を置く。 北葛城郡（郡役所：高田町）— 1町19村 葛下郡（1町14村） 現香芝市（五位堂村・下田村・二上村・志都美村） 現大和高田市（高田町・浮孔村・磐園村・陵西村・土庫村・松塚村） 現葛城市（新庄村・磐城村・當麻村） 現王寺町（王寺村） 現上牧町（上牧村） 広瀬郡（5村） 現広陵町（瀬南村・馬見村・百済村・箸尾村）、現河合町（河合村） * 大正15年7月1日郡役所廃止 以降は地域区分名称となる。
		大正12年：新庄村が町制施行し、新庄町となる。

		大正15年：王寺村が町制施行し、王寺町となる。 昭和2年：箸尾村→箸尾町、高田町に土庫村・松塚村が編入される。 昭和16年：高田町に浮孔村・磐園村が編入される。 昭和23年：高田町が市制施行し、改称して大和高田市となる。 昭和28年：馬見村が町制施行し、馬見町となる。 昭和30年：馬見町・瀬南村・百済村が合併して広陵町となる。 昭和31年：五位堂村・二上村・下田村・志都美村が合併して香芝町となる。 当麻村に磐城村が編入される。 広陵町に箸尾町が編入される。 大和高田市に陵西村が編入される。 昭和32年：行政区画（境界）変更により、大字畠田の大半が王寺町域となる。香芝町域の大字畠田を大字尼寺に字名変更 昭和41年：當麻村が町制施行し、當麻町となる。 昭和46年：河合村が町制施行し、河合町となる。 昭和47年：上牧村が町制施行し、上牧町となる。 平成3年：香芝町が市制施行し、香芝市となる。 平成16年：新庄町・當麻町が合併して葛城市となる。
昭和24(1949)年	4月1日	下田村・二上村（當麻村大字加守・大字丸柏を含む）・五位堂村・志都美村組合立香芝中学校が開校
昭和28(1953)年	10月1日	町村合併促進法施行 関係町村間に審議会が設置される。
昭和30(1955)年	9月頃～	下田村・二上村・志都美村・五位堂村で合併の動きが活発化する。
昭和31(1956)年	2月半ば	合併基本方針がまとまる。
合併の基本方針		
	○発足時期	昭和31年4月1日とする。
	○合併する村	五位堂村・下田村・二上村・志都美村の四カ村とする。 當麻村大字加守・大字丸柏地区は加わる意向であったが、法的に困難であった。また、二上村の一部には當麻村へ編入したいという動きがかなり強くみられた時期もあったとされる。
	○合併の形態	対等合併とする。
	○町名	香芝町とする。
	○庁舎の位置	当面、旧下田村役場を仮庁舎とし、財政の状況をみてなるべく速やかに新庁舎を近畿日本下田駅（現：近鉄下田駅）周辺の至便なところに建設する。
	○支所	向う1年間は、他の旧三カ村役場を支所とする。
	○町長・職員	初代町長は、旧下田村長の田中國太郎とする。旧各村助役以下の全職員を新町に引継ぐ。
	○町議会議員	法定により新町発足後1年間は、旧村議会各議員を町議会議員とする。
	○財産・負債	いずれも現状のまま、白紙で新町に帰属させる。
	○町名論争	2月28日、四カ村合併促進協議会において下田村は「下田」を、五位堂村は「香芝」「恵心」を、志都美村は「香芝」「大和(だいわ)」を、二上村は「二上」を主張するも決まらず、現村名を用いないということで「大和」と「西和」に絞り「大和」に決定。 3月11日、四カ村村長議長による財政状況の審議会において「大和」の町名は白紙に戻し、香芝中学校関係諸村として「香芝」に変更決定。 3月12日、緊急臨時村議会を招集し、町名「大和」を取り消し、「香芝」に決定する議決を得る。
	○香芝の名称	この名は、中学校の開校にあたり広く一般から募集し、当時の県視学（教職員を監督する地方官）の中川良秀氏らによって命名された。
	○調印式	3月13日、下田村役場会議場にて県地方課長立会いの下、四カ村の村長、議長が同席して調印式が行われた。
昭和31(1956)年	4月1日	地方自治法第7条第1項の規定により四村が廃され、その区域をもって香芝町が置かれた。

参考文献：香芝町史、奈良県政70年史、奈良県の歴史（県史29）＜山川出版社＞、全集日本の歴史第13巻文明国を目指して＜小学館＞

角川日本地名大辞典＜角川書店＞

ホームページ：香芝市/香芝の沿革、奈良県/統計年鑑、総務省/地方自治制度

香芝町が誕生した当時(昭和31年4月1日)の町勢

旧 村 名	人口(人)	世帯数(戸)	面積(km ²)	議員数(人)
	(官報公示)	(国調 S30)		
五位堂村 (村長・瀧井芳一) (五位堂村・鎌田村・良福寺村・別所村・瓦口村)	3,333	628	3.7	16
下田村 (村長・田中國太郎) (下田村・逢坂村・狐井村・北今市村・五ヶ所村)	4,096	795	3.7	12
二上村 (村長・山本甚五郎) (磯壁村・畑村・穴虫村・関屋村・田尻村)	4,950	965	8.6	16
志都美村 (村長・黒松喜洲) (上中村・高村・畠田村・今泉村・平野村)	3,172	563	10.3	16
* 畠田は、昭和 32 年 1 月 1 日に大部分が王寺町に編入され、香芝町内の畠田を尼寺と改称した。 * 新町議会は旧村議会議員全員をもって構成され、下田小学校の旧講堂を議場とした。				
香芝町 (町長・田中國太郎) (S31.4.1)	15,551	2,951	26.3	60
香芝市 (市長・吉田弘明) (H31.1.31)	79,473	31,232	24.26	16

香芝市内各地区案内図



わるさ豆狸^{まめだ}

原文：鈴木知英子

昔は、この道が本街道やったんや。

たった三尺にも足らん狭い道やけど、いろんな人が、いろんな思いで往き来した道や。

日暮れになるとなあ、下草刈りの柴を山ほど背負うた父ちゃんや、真っ赤な実が重たいほどなったグミの枝を地面に引きずるぐらいに担いだ母ちゃんや、カッチンがいっぱい入った綿入れのたもとを、大事そうに押さえたわるさ坊主らが、「さいなら、さいなら。」と言いもって、この道を急ぎ足で帰って行ったもんや。

この道の、ちょうど^{ひらの}平野と^{しもんてら}下之寺のはんだいこ^{中間}に、小高いくぬぎの林があった。くねくねと曲がった小径に沿うて、透き通った冷やっこい水がちよろちよろと流れる細い川があって、芹が生えてたり蛭が群れとったり、また、下草の熊笹が川を隠して茂ったり、子どもらがわるさをするのにもってこいの道やった。

くぬぎ林の隅のところに、一本の松の木があった。枝ぶりのええ、がっちりした松やった。

ここいらの子は、誰も彼も男もおなごも、山や川でてんでに遊びを見つけては、日がな一日暴れ呆けてたもんや。村には、木に登れんような子は一人もおらなんだはずやが、それがこの松の木にだけは、誰一人登らんかったということや。

その訳はこうや。

「あの松の木には豆狸が居とる。」

「豆狸が頭から砂かけよる。」

みんながそれを信じていた。どこの母親も、我が子には勿論のこと、よその子にまでも。

「豆狸の松には登るなよ。」

「豆狸にわるさされて、家に帰れんようになるで。」と、子どもの耳にたこができるまで言うて聞かしたからや。

日暮れになって、カラスが西山へ帰ったあとで、その松の木の下を通りかかると、きまって上からぱらぱらと砂が降ってくるというのや。

「提灯をかざして松の枝を見上げたら、子猫が口をちょんがらしたような顔をした、こんまい狸が座とった。」などと言う者もいたが、ほんまのことやら、嘘のことやら。

そのうち豆狸は、村の者の間で、しっかり「わるさ」にされてしもた。せやけどなあ、わいは思うんや。

あんな愛嬌のある顔してて、豆狸はほんまに「わる」やろか。人間の子に本気でわるさしょってんやろか。

豆狸が人間にちょっかい出しよったんは、子どもらと連れになりたかったからと違うんやろか。もしかしたら、暗い夜道で子どもが恐い目に遭わんようにと、わざと自分が「わる」にされて辛抱してたんかも知れんとな。

くぬぎ林も今はもうない。松の木もない。ましてや豆狸に会って、心底の思いをただすことはもうできん。

わいはそれが、心残りでならんのや。



第7回

香芝検定

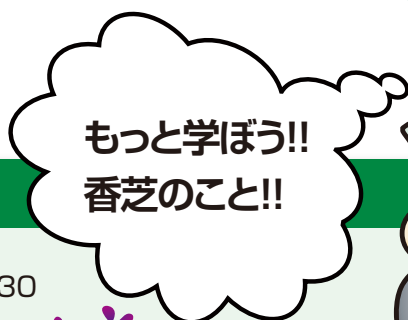
平成31年3月9日 土 開催!

受検料無料

申込受付中!

第7回香芝検定 実施概要

- ◆日 時：平成31年3月9日 土 10:00～11:30
- ◆会 場：香芝市中央公民館3階
- ◆受検資格：特に制限はありません。
- ◆検 定 料：無料
- ◆申込方法：市役所1階市民協働課へ直接又はお電話で受検希望の旨をお知らせください。
ホームページからお申し込みいただけます。
※お申込みの際に、3名以上のグループ(企業・仲間)での団体申込みを兼ねることができます。
詳しくはホームページをご覧ください。
- ◆検定方式：90分で択一式100問(4択)のマークシート形式
- ◆出題範囲：香芝市に関連するものから100問で、そのうち90問は第7回香芝検定問題集から出題されます。
- ◆合否判定：70問以上正解の方を合格とし、合格証書と認定証を交付します。
- ◆結果発表：3月下旬に全員の方にお知らせします。
- ◆表 彰：高得点者から順に、市長賞、市議会議長賞、教育長賞を授与します。団体には特別賞を授与します。
- ◆問 題 集：無料 香芝市民図書館、香芝市中央公民館、市役所市民協働課等で取扱います。



香芝検定 予習講座!!

香芝検定関連講座
@市民図書館

検定問題集から 何問かを取り上げ、香芝検定実行委員会のメンバーが解説します。受検予定者はもちろん、検定を受検されない方も歓迎します。

- ◆日 時：平成31年2月11日(月・祝日) 午後1時30分～3時30分
- ◆場 所：ふたかみ文化センター 2階・会議室
- ◆定 員：50名
- ◆申 込 方 法：市民図書館、市民協働課または香芝検定ホームページからお申込みください。
- ◆受 講 料：無料
- ◆持 参 物：香芝検定平成31年版公式問題集
- ◆お問い合わせ：香芝市民図書館 TEL.0745-77-1600



香芝検定実行委員会

<https://kashibakentei.com/>

問い合わせ先:香芝市役所市民協働課 TEL.0745-44-3314